

「介護相談窓口 通信」 2019年8月号

※豆知識(認知症について③)※

前回より認知症についてお話して参りました。前は、食べたのに食べてないというのは、その方の記憶に「食べた」という記憶そのものがないということですとお話し致しました。

今回は、その時の対応についてお話し致します。

「食べた」という記憶がない方に「食べた」といくら説明しても納得はされません。「食べてない」という事実に合わせておくことが必要です。

「今、準備しているから待って下さいね」と言いながら、お茶やおやつなどを勧め、「食べてない」という不満や不安を軽減することが必要です。また一回の食事量を調整し、食べ過ぎにならないようご注意ください。

また、介護をしていると何度も繰り返されるやり取りに疲れてしまうと思いますが、何度も同じことを言われるのが認知症の症状ですので、イライラせず、その方の世界にお付き合い下さい。どうしてもイライラする時は、少し離れて気分転換を行ってみて下さい。

介護相談窓口では、認知症に関する資料なども用意しております。

必要なものはコピーしてお渡ししておりますので、どうぞご利用下さい。

【介護アドバイザー 湯浅美佐子】

大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社が共同で
「介護相談窓口」開設！

場 所:大阪市立大学杉本キャンパス 1号館1階
女性研究者支援室(研究支援課分室)
(大阪市住吉区杉本3-3-138)

利用対象:連携機関の研究者、大学院生等

メール:f-soudan@ado.osaka-cu.ac.jp

電話:06-6605-3455

相談窓口HP:<http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/effort/assistance-service/>

※個別の相談には予約が必要です。まずはお電話またはメールにて

お問合せ・ご予約ください。相談は面談やお電話、メールで対応します。

介護相談室利用可能日

時間:各日10:00~16:00

2019年

8月2日(金)、8月23日(金)

9月13日(金)、9月20日(金)